

# 濃桃色の花色を有する晩生リンドウ「福島栄 24 号」の育成

福島県農業総合センター 作物園芸部 品種開発科

部門名 花きーリンドウー品種、育種・選抜

担当者 尾形正幸、鈴木保奈美、宍戸邦明、近内智子、大竹智美、松野香子、福田秀之、野田正浩

## I 新技術の解説

### 1 要旨

本県リンドウ産地の生産振興を図るため、頂花咲きに優れ、花色等が特徴的な新奇性の高い品種の育成が必要となっている。花色が特徴的な濃桃色で晩生のリンドウ「福島栄 24 号」を育成した。

- (1) 花色は濃桃色で、頂花咲き性は良好（図 1）、草丈は定植 3 年目株で 80~120cm 程度である（表 1）。
- (2) 収穫盛期は県内主産地で 10 月上旬~中旬となる晩生系統であり、「天の川」よりも遅く、「尾瀬の大将」よりもやや早い（表 1）。
- (3) 「天の川」、「尾瀬の大将」と比較して、草丈は長く、花段数は 5 段程度とやや少ない。
- (4) ササリンドウ系の選抜個体である母株と父株を交配し、得られた後代から選抜した優良個体を栄養繁殖で増殖した系統であるため、形質の均一性も良好である（図 2）。

### 2 期待される効果

- (1) 本県育成品種では、これまでにない花色であり、仏花以外の用途への利用も可能と考えられることから、9 月彼岸過ぎの出荷でも単価の確保が期待できる。
- (2) 濃桃色系で晩生系統のため、地域によっては 10 月中旬まで出荷期間の拡大を期待できる。

### 3 適用範囲

- (1) 県内全域

### 4 普及上の留意点

- (1) 茎径がやや細く曲がりやすいため、風当たりの強いほ場では、防風ネット等の対策を行う。
- (2) 水稻の収穫時期と重複するため、導入に当たっては労力の競合を考慮する。
- (3) 病虫害防除は、慣行と同様の適期防除が必要である。

## II 具体的データ等

表1 リンドウ「福島栄24号」の開花期特性(定植3年目株 2024年)

系統名 (品種名)	試験場所 <sup>1)</sup>	収穫盛期	草丈 (cm)	花段数 (段)	茎数 (本)	葉長 (cm)	側枝数 (本)	茎曲がり <sup>2)</sup>
福島栄24号	南会津町	10月上旬	127.5	6.3	32.6	6.4	6.4	少
	只見町	10月上旬	109.6	5.5	43.7	7.1	2.8	少
	二本松市	10月中旬	87.1	4.5	18.7	4.7	1.6	中
天の川	南会津町	9月中旬	96.8	7.1	20.6	6.5	15.9	少
	只見町	10月上旬	83.3	6.2	47.0	6.7	14.0	少
	二本松市	9月中旬	82.7	7.6	11.4	6.3	14.9	無
尾瀬の大将	南会津町	10月上旬	105.9	8.5	8.9	6.3	9.9	少
	只見町	10月中旬	105.8	8.4	15.2	6.0	7.1	無
	二本松市	10月中旬	75.5	8.7	5.5	4.9	6.4	少

1) 試験場所の標高: 南会津町約550m、只見町約500m、二本松市約500m

2) 茎曲がりの程度: 多、中、少、微、無



図1 リンドウ「福島栄24号」の花



図2 リンドウ「福島栄24号」の草姿

## III その他

### 1 執筆者

尾形正幸

### 2 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和3～7年度

(2) 研究課題名 個性豊かな県オリジナル野菜・花き新品種の育成 [福島県産農産物競争力強化事業(研究)]、個性豊かな県オリジナル花き品種の育成

### 3 主な参考文献・資料

なし